

暴風雪 / 雷・竜巻

暴風雪のときは、視界不良(ホワイトアウト)になり大変危険です。
雷や竜巻は急に発生することがあります。

知る 雪害の危険

- 吹きだまりによる立ち往生の危険
- 給排気口が塞がると、一酸化炭素中毒の危険
- 視界不良による歩行困難、低体温症の危険

備える 日頃からの備え

- 最新の気象情報や道路情報などを十分に確認する
- 無理をせず、外出を避ける
- 給排気口が塞がらないよう除雪を行い、換気に注意する

車が立ち往生! そんな時は

排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があるので、原則エンジンを切り、救助を呼びましょう。

◆車に備える備品

📄 車に備える備品(例)

- 防寒着、長靴、手袋、毛布など
- スコップ、牽引ロープ
- ブースターケーブル
- 飲料水、非常食など
- 十分な燃料

🚗 車の故障・不具合・レッカー移動などは

JAFロードサービス

☎0570-00-8139

天気予報で「数年に1度の猛吹雪」
「外出は控えて」などの言葉があれば警戒を!

徒歩で外出中に

暴風雪に遭遇!

そんな時は

帰宅が困難な場合は
近くのコンビニや建物の中など
安全な場所に移動して
天気の回復を待ちましょう。
そして今後の気象情報などを
収集するようにしてください。

知る 気象庁からの情報に注意

◆気象庁からの注意情報

雷注意報

落雷、ひょう、突風の
情報による災害を注意喚起。

外出前には最新の
注意報を確認し、注意する。

竜巻注意情報

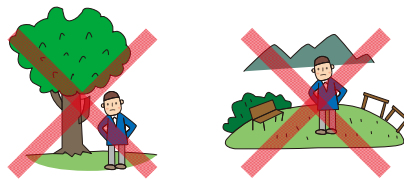
竜巻の発生しやすい
状況を注意喚起。

空の模様を注意し、
積乱雲が近づく兆しを感じたら
直ちに身の安全を確保。

備える いざという時の備え

◆危険な場所の把握

木の下や公園など周囲のひらけた場所は
落雷のおそれがあり危険。
竜巻の際は物置や車庫、プレハブの中は危険。



行動する 発生時は身の安全を確保

雷が起きたら

- 雷鳴が聞こえたら、すぐに建物や車の中へ避難する。
- 避難する場所がない場合は姿勢を低くする。

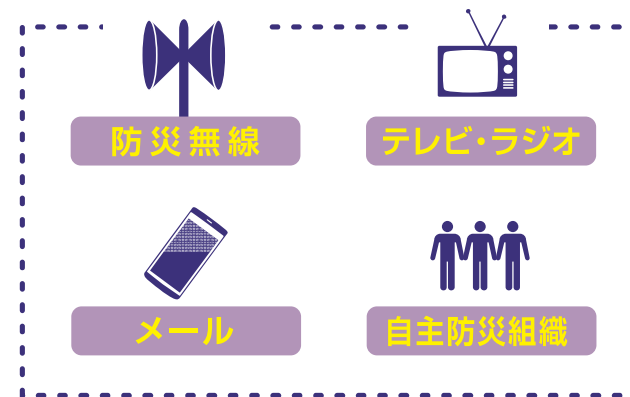
竜巻が起きたら

- 頑丈な建物の中へ避難する。
- 避難する場所がない場合は、地面より低い場所へ。
- 屋内では中心部に近い、窓がない部屋か地下へ。
- 窓やカーテンを閉め、机の下に入り、頭を守る。

安全に避難するために

避難情報はさまざまな方法で入手できます。

◆避難情報の入手方法



◆テレビから入手する方法

- 1 デジタル放送でチャンネル「3(NHK)」に合わせる
- 2 リモコンの **d** ボタンを押す(データ放送が表示)
- 3 リモコンの **赤** **青** **緑** ボタンで
見たい情報を選択する

入手できる情報 **赤** 気象情報、警報注意報 **青** 最新地震情報 **緑** 地震・津波情報

◆防災無線

町では、災害や重大な事象が発生したときに、いち早く情報を伝えるため、防災無線の受信機を各家庭に無償で貸し出ししています。
[貸出先: 災害対策事務局 (役場総務課)]



◆弾道ミサイル落下時の行動

- 1 速やかな避難行動
- 2 正確かつ迅速な情報収集

役場からの指示にしたがって、落ち着いて行動してください。

Jアラートが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

建物がない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて
頭を守る。

屋外にいる場合

近くの建物[※]の
中か地下に避難。

屋内にいる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に
移動する。

※できれば頑丈な建物が望ましいですが、近くになければそれ以外の建物でもかまいません。

◆パソコン・スマートフォンから入手する方法

●気象庁

- ◆6時間先までの1時間ごとの降水分布を予測(降水短時間予報)
- ◆指定河川の水位または流量を示した洪水予報を提供(指定河川洪水予報)



●北海道土砂災害警戒情報

土砂災害による被害の防止・被害の軽減のための情報を発表しています。



●川の防災情報

リアルタイム雨量・水位の情報を提供。水防警報、洪水予報やダム放流を通知。



●北海道地区道路情報

道路通行止め実施箇所を掲載。峠の現状をカメラ映像で見ることができます。



●北海道の道路情報

総合案内サイト「北の道ナビ」
道路交通情報・気象情報・防災情報などが総合的に掲載されています。



●北海道防災情報

北海道において発令されている防災情報を提供しています。



避難が必要な場合は、町から防災無線、テレビ、エリアメール、広報車などで避難情報などをお知らせします。